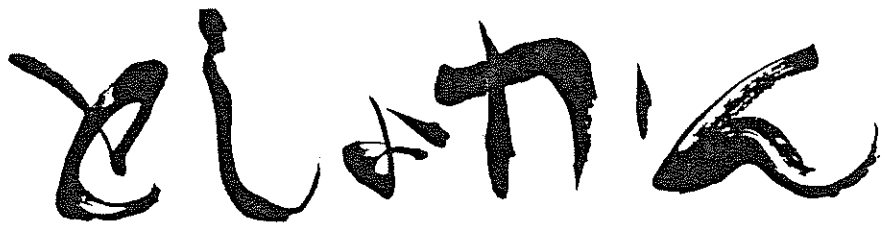


宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

郷土を知ろう

郷土資料紹介

あなたは、宇都宮のどんなことについて知りたいですか？ この問いに答えるために、図書館では五つの基本目標の中のひとつとして、郷土資料の整備充実に努めています。資料点数は、約7千3百冊あります。そのなかからガイドとなる資料をご紹介します。

◇宇都宮市立図書館郷土資料目録

昭和59年2月までに受け入れた資料一、七四七冊の目録です。その書名索引は、細かい項目を含めてあり、活用値が高いものです。

たとえば、雀宮に関する資料を書名からは、「雀宮牛塚古墳」・

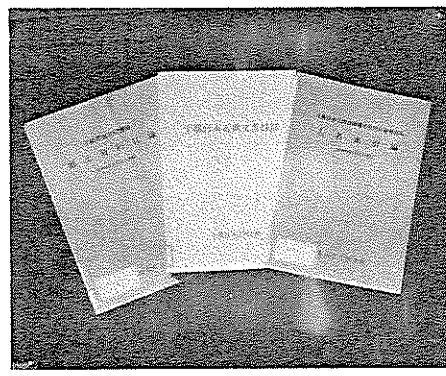
「雀宮の歴史」・「雀宮郷土誌」のわずか3タイトルですが、細かく見ると、「雀宮綾女塚」から「

雀宮村」まで、20タイトルが得られ、より多くの資料にアクセスできます。

◇宇都宮市立図書館郷土資料目録補遺版人名索引編

郷土資料目録中の人名を収録したもので、人名、生没年、通称、号、身分、職業、出身地などを基本項目とし、記載されている資料名が導ばれています。

たとえば、鈴木為蝶軒（すずき いちようけん）を引くと、彼は一七三三年（一八〇六年）に生き、名を正長、武助といい、黒羽藩家老の職にあり、著書『農諭』を著し、「栃木県大百科事典」「故郷の先人」「下野文籍志」などに彼の記述があることを一目でわかります。



◇宇都宮市近世文書目録

市史編さんのために市内古文書所有者の了解のもとに複写したものを主体とした古文書の目録です。目的とする資料を探す時は、分類表にある内容を見定める必要があります。板戸河岸についての資料を探すと、まず河岸という主題は、分類56の宿場と分類58の運送にあ

ります。板戸河岸の運送について調査の力点があれば、まず、分類58運送の史料名をたどり、

「板戸大割（船の割当、荷運送の議定書）」、「荷物下ヶ先取調控（板戸河岸、田村分）」、「下野国板戸川岸より江戸迄船運賃覚」など探したせまです。

また、巻末の「宇都宮歴史年表（支配者編）」は、支配者とその石高、没年があり便利です。

◇下野年鑑と栃木年鑑
これには、県内各市町村の現勢、統計資料等があります。とくに企業総覧や事業所要覧は、他に記載がなく貴重です。

◇角川日本地名大辞典9 栃木
地名辞典の要案のみばかりでなく、その土地の歴史、行政経過も詳しい。当館のある明保野町は、昭和40年からの町名で、それ以前は、曙町であり、昭和12年以前は、西原町の一部であることがわかります。

なお、人文地名（道路・街道・掘用水）も充実しており、「国道4号」は、明治17年県令三島通庸の道路近代化政策の中で整備されたこと、「宝木用水」は、寛文10年、加藤四郎兵衛らによって開拓が開始されたことが、判明します。

◇宇都宮市統計書
毎年発行され、宇都宮市の総合統計書です。全体的であるため、より詳細に知るためには、各部各課発行の資料に注目します。農業ならば、「宇都宮市の農業」、清掃は「清掃事業概要」、図書館は、「図書館概要」という具合です。

◇文化財シリーズ

宇都宮の歴史と文化財に対する理解のために身近な生活の中に題材を求めて、現在、第8集まで発刊されています。「宇都宮のいしぶみ」は、市内各所の石碑について書かれ、「宇都宮の名木」は、記念物ばかりでなく、巨木、古木、珍木をもとめたものであり「宇都宮の古道」は古道の由来や、その町並、石仏、道標など歴史的な事物をまとめてあります。

◇宇都宮市史

市制施行八十周年記念事業として発刊が開始され、全九巻です。宇都宮の歴史について知るための最も詳しい資料です。

まだ多くの郷土を知るための資料があります。これらは、みなさんの身のまわりの疑問を解き明かし、郷土をこれまでより身近なものにしてくれることでしょう。ぜひ一度、三階の調査相談の一角、郷土資料コーナーを訪ねてください。

今年も開きます 『知って得する図書館講座—図書館利用講座—』

あなたは図書館にどんなイメージをもっていますか？ 勉強をするところ、宿題をやるところ、静かに本を読むところ、本を借りるところ……。これは図書館の一部の顔にすぎません。図書館はもっともっといろいろな顔をもっています。あなたの使い方次第で、くらしの中になくてはならないもの、便利なものになるでしょう。また、あなたの人生を豊かなものにする場となることと思います。

このため図書館では、3回の連続講座を開催し、みなさんにそっとお教えいたします。普段、見ることでできない図書整理過程や保存書庫の見学、子どもを本

知って得する図書館講座—図書館利用講座—・カリキュラム

	10月19日(日)	10月26日(日)	11月2日(日)
1:00	開講式 (オリエンテーション)	わかりましたか？ 演習解答	わかりましたか？ 演習解答
2:00	としょかんを知ろう！ —館内見学—	上手な本の探し方 (大人の本・子供の本) ラベルのみかた 書架の並び方など	あなたの蔵書の作り方 Q & A
	としょかんの仕組み 移動図書館 相互協力 身障サービス等	子供を本好きにするために…	たのしい仲間づくり サークル紹介
3:00	調査法 PART 1 全般的な方法 人についての調べ方 演習	調査法 PART 2 地名の調べ方 ことがらの調べ方 演習	楽しい事業をもつために —視聴覚ライブラリー からのご案内—
4:00			修了式

好きにするためのヒントなど、盛り沢山用意しました。
この本でわかると知れば、図書館は今までより数倍便利で親しめるものとなるはずです。

秋の日の午後を勉強、知的生活の準備に空けていただだけませんか。お待ちいたしております。

中国国家図書館副館長来館

さる8月24日、中国国家図書館胡沙副館長が、国際図書館大会（東京大会）を機に、宇都宮市立図書館に来館しました。

一行は、八幡山公園の宇都宮タワーより市内を一望したあと来館し、一階フロアで多くの利用者から、熱烈的歓迎を受け大変喜んでおりました。

館内を見学したあと、市長、市議会議長、図書館長等と図書館の管理運営、施設等について歓談をしました。

昭和57年5月29日、日中学术交流第二次宇都宮市民訪中団（团长増山道保宇都宮市長）が、北京にある中国国家図書館と図書交流を目的とした友好協定を結んできました。中国国家図書館は、日本の国立国会図書館に相当し、中国で一番大きな図書館です。

中国国家図書館より贈られた資料は、子ども向けのものは児童図書室に、それ以外の資料は3階の調査相談室に配架してありますのでご覧になって下さい。図書とおして、市民が互いに理解を深めていただきたいと思います。

返却期限を守りましょう

「もしもし〇〇さんですか。返却期限の切れている本をお持ちのようですね。お早くお返し下さい。」

これは毎日行われる督促電話です。図書の返却期限は二週間であることは、利用者の皆様はご存じのことと思います。もし二週間の期限内に読み切れなかった場合は、来館して継続手続きをして下さい。その本がリクエスト本でない限り、継続してさらに二週間借りることができます。図書は、返却期限を守って読んでくださるよう、くれぐれもお願いします。

お話し会

おななし会は、児童図書室お話しコーナーで、毎週火・木・土曜日と毎月第一、二日曜日に開かれています。

火・木・土のお話し会はお話しボランティア、第一日曜は、おはなしキャラバン「つばみ座」、第二日曜は読み聞かせの会の人達がそれぞれ行っています。絵本や紙しばいの読みかせ、時には手あそびやゲームなど、楽しい30分間です。とくに幼児期に経験させてあげましょう。どうぞ一度いらっしやってください。

サイエンスブックを読む

近代から現代まで——長野 敬氏

8月31日(日)自治医科大学の長野敬教授を迎えて第1回教育文化ボランティア養成講座を開催しました。

長野氏の生物学への出発点となった本は、H・G・ウェールズ著「生命の科学」でした。そこからいろいろな知識の広がりへ向かい、知識のえかたは一つの知識が少しとび離れたところの別の知識と結びつき、複数の知識の間につながりの線ができる。これが網となっていくという形であると話されました。

した。

日本では欧米に追いつき追い越せということで科学技術を受け入れてきました。現在は、科学知識の普及ということから科学の本の書き手の層が広がりました。これは、出版社もふえ、出版量も多くなつたこと、科学ライターも育ち、平易に、しかも即時的に書けるようになったからだとしています。

戦前は少数精鋭でしたが、戦後は科学者のPRの意味もあり、科学者の立場を訴えるためにも書き手

が多くなりました。

生物学が新しく理論的に再編成されたのは遺伝子が解明されたことからです。戦後は生物学の解説



書が増してきたのはそこに起因します。

朝日新聞書評委員の立場からは、今年4月から書評欄が署名入りとなつたためかつて批評しやすくなつたこと、紙面上で出版社がだ

こととす。提唱しているおはなしの考え方は、完全に子どもの側に立ち、心と心をやりとりして、一つの世界を作りあげていくことで



す。その方法論として対話がでてくるのです。演じ手は、自分でテーマをとり、自分らしく解釈して、自分らしい想像力と柔軟性を付け加えて、子どもの前で読み聞かせ

ぶらないように注意していること、科学者として第一流の研究者でも翻訳者として良いかどうかを考えない出版社があるなど話されました。

書評委員の責務については、広い範囲の常識を持つて科学が変てこな形で社会に被害を及ぼしたり、科学自身が社会から誤解され、科学の研究が阻害されることがないようにしたい。一種の通訳みたいな立場である。それなりに意味があると思うので、今後もそのような位置にあつて、この仕事を続けていきたいと結ばれました。

ではなく語ってもらいたい。語るというのは、絵を見せて語ることです。語るといふのは対話です。

ストーリーテラーになつて、子どもたちの心をゆさぶろうと思うのでしたら、人形劇からはいのを推めます。へたでもいいから子どもたちの言葉に反応しながら演じてください。それだけで子どもたちは喜びます。

途中何人かの人にちよつと演じてもらい注意を与えたり笑ったりして、忘れかけていた童心に戻った人もいて楽しい講座となりました。

子どもにとって人形劇とは

浜島代志子氏

9月7日(日)松戸市おはなしキャラバン理事の浜島代志子氏を迎えて第2回子どもと子どもの本をつなぐ講座を開催しました。

氏自身現在も松戸市において子どもたちに人形劇を演じております。その体験からのアドバイスや考え方を講演もまじえて話されました。

子どもの教育とか文化を考える場合、子どもとどこに出向いていって、子どもたちの環境を

目次

問 利用者端末機がなかなか使用できないのですが。

答 今年六月から二台の端末機が利用者のために設置されました。沢山の方に使っていたために速やかな利用をお願いいたします。又、利用について不明な点は遠慮なく係員に申し出てください。

9月12日、栃木県公館において、神奈川県大和市在住の亀卦川浩氏に紺綬褒章が伝達されました。同章は、公益のため私財を寄附した人に贈られるものです。これは6月1日号でお知らせのように、亀卦川氏が同家に代々伝わる蒲生君平書簡、大田錦城書簡、松川岐山書簡など約50点の貴重な古文書を、宇都宮市立図書館に寄贈されたことに対し、同章を内申していたものです。

蒲生君平書簡は、10月6日オーブンの新市庁舎12階文化財研究展示室において、一般に公開されますので、ぜひ見にきてください。

読書活動推進講座

日時 10月5日(日)
午後1時30分～3時30分

講師 谷川俊太郎氏

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「ことばと子ども」
読書会形式で行います。

定員 120名
申込 9月19日(金)から、電話か直接、市立図書館へ。

ずいひつ講座

日時 10月12日(日)
午後1時30分～3時30分

講師 三木卓氏

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「わたしとずいひつ」

定員 120名
受付 9月26日(金)から

知って得する
図書館講座

日時 ①10月19日(日)
②10月26日(日)
③11月2日(日)
3回連続

場所 市立図書館3階集会室

時間 午後1時～4時

定員 30名

講師 市立図書館職員

筆記用具をご持参ください。なお、修了証を交付いたします。

落語会

第25回落語会を開催します。

生の落語会の模様を「声の図書」として作成し、目の不自由な方々に、「聞く読書」を楽しんでいただいております。
寄席の雰囲気を出すためにも、ぜひご来場のうえ、いっしょにお楽しみください。

ニュース
コーナー

日時 11月15日(土)
午後3時～5時
場所 市立図書館3階集会室

点訳・朗読ボランティア
研修会開かる

目的 目の不自由な利用者のために日頃熱心に活動いただいている点訳グループ「あけぼの」及び朗読グループ「あけぼの」の皆さんは、9月17日(水)、郡山市図書館を訪れ、地元のボランティアグループと交流を深めつつ、研修会をもちました。他市の状況を知ること、はげまされ、今後の活動に新たな力が沸いてきたことと思います。

貸出状況

区分	61年8月	61年度累計 61/4～61/8
登録者数	1,425人	104,460人
貸出人数	館内	25,064人
	視聴覚	2,295
	館外	2,820
	計	30,179
貸出冊数	館内	79,264冊
	視聴覚	5,271
	館外	11,982
	計	96,517
		377,611

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

8月の	館内	1日あたり	館外	1ステーションあたり
貸出人数	964人		31人	
貸出冊数	3,477冊		130冊	

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は
午後9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日
国民の祝日

○貸出は
図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

図書・紙芝居
レコード
ビデオ・フィルム

5冊
3枚
5点

あわせて13点まで

○講座の問い合わせ・申し込み

電話または直接図書館へ
電話 360231

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	
2	③	④	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23/30	⑳	㉑	26	27	28	29

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2 3 4
5	⑥	7	8	9	⑩	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉑	28	29	30	31	

声の図書

ボランティア製作
あたらしい本

▽非行克服と家庭教育
(黒川敏子)▽キャバレー(横山嘉子)▽顔のない十字架、話せるだけが英語じゃない(渡辺美晴)▽ナポレオン狂(藤田東子)▽樹の声・海の声(木村あい)▽スプリン1つでつくる離乳食(青木桂子)▽おばあさんのゾウ(佐藤孝子)

点訳図書

▽おこったつき、エナノの宮殿(原島佳代子)▽アルプスのくま(長谷部幸江)▽二分間の冒険・塩狩峠(梶原ゆみ子)▽鳴潮のかたに(四十物恵子)▽やまではたらくおとうさん(鈴木昌子)▽あんちゃん(小島義則)

寄贈

渡辺清「合同年刊歌集」吉野益太郎「とちぎの歳時」村上周司「自然」吉井貞蔵「黄昏のロンドンから」佐藤皮膚科「大暗室」菅野谷美智子「居酒屋の天使」稲葉フク子「動物家族」藤岡浩美「障害の重い子を育てて」田中大作「子どものための百科」森正義「絵に描いた悪魔」佐々木直子「びんのそら」他多数。

『うつのみやこども賞』選定図書一覧表

昭和60年3月24日現在

回	月 日	書 名	著 者 名	出 版 社
1	6 / 3	(説明会)		
2	6 / 24	★星になったチロ	藤井 旭	ポプラ社
3	7 / 15	王者のとりで	戸川 幸夫	金の星社
4	7 / 29	兄妹	植木 雅子	童心社
5	8 / 12	青い部屋	岸川 悦子	〃
6	8 / 26	★ミスターおもしろ氏は誰だ	中野 幸隆	ポプラ社
7	9 / 9	ウルフ探偵とまぬけな死神事件	三田村 信行	偕成社
8	9 / 22	ネコは街のライオンだ	羽仁 進	ポプラ社
9	10 / 7	☆おばあさんのゾウ	かつお きんや	リブリオ出版
10	10 / 21	お父さんのおんぶ	宮川 ひろ	偕成社
11	11 / 11	★サブの二学期	野村 昇司	あすなろ書房
12	11 / 25	とべない白鳥ポー	手島 悠介	講談社
13	12 / 9	おかしなおかしな月火水木金土	肥田 美代子	偕成社
14	12 / 23	★はしれカヌー冒険の海へ	しかた しん	金の星社
15	1 / 13	冬を旅する少女	中島 信子	ポプラ社
16	1 / 27	★東京ワルがき列伝	木暮 正夫	ポプラ社
17	2 / 10	放課後の手帳	森 一歩	旺文社
18	2 / 24	★魔女の宅急便	角野 栄子	福音館書店
19	3 / 10	サンパイ・ベルジュンパ・ラギ	かつお きんや	リブリオ出版
20	3 / 24	☆ふたりは屋根裏部屋で	さとう まきこ	あかね書房

★印は、「月の本」、☆印は、「上半期」及び「下半期」の一冊

第1回「うつのみやこども賞」該当図書は

10月7日選定

「おばあさんのゾウ」(かつおきんや著・リブリオ出版)

『うつのみやこども賞』推薦図書

片うでの少年剣士	手島悠介	講談社
パパのおでかけ作戦3年生	久保田忠夫	ポプラ社
ねこっ原のぶちねこ	征矢清	あかね書房
ズッコケ財宝調査隊	那須正幹	ポプラ社
オリンピックものがたり	前田百基	教育出版センター
なぞの海賊オラン船長	浦野和子	講談社
ニコラのすてきな夏休み	山口智子	福音館書店
ちび犬テモちゃん	竹崎有斐	ポプラ社
ぼうけんをしたシマリスプル	高橋けん	小峰書店
ぼくが燃えてしまう	岡本文良	金の星社
ネコのバースデー	まつおやすこ	偕成社
父さんはやっぱり父さん	砂田弘	あすなろ書房
焼けた空	船渡和代	汐文社
ノウサギの歌	前川康男	講談社
竜のいる島	たかしよいち	理論社
長いしっぽのポテトおじさん	上崎美恵子	岩崎書店
旅びと	松永伍一	偕成社
3年1組ただいますききらい0	中川陽子	佼成出版社
だんまりうさぎと大きなかぼちゃ	安房直子	偕成社
ぼくとあいつの放課後	岡本泰生	ポプラ社
女の子たちのマーチ	竹田まゆみ	偕成社
へっこきじっさま一代記	大川悦生	偕成社
青い目のバンチョウ	山中恒	偕成社
頭のさきと足のさき	山中恒	偕成社
校長先生危機いっばつ	三田村信行	PHP研究所
八月の少女たち	大野允子	新日本出版社
テレパシードロップをどうぞ	浜田けい子	岩崎書店
ノラネコさいばん	大原興三郎	偕成社